

輸送動向について(2月分)

平成 17 年 3 月

1. 輸送概況

今月は、前月末から上旬にかけて続いた強い冬型の気圧配置により、新潟及び青森地区では 19 年ぶりという記録的な豪雪となった他、近畿・広島地区においても大雪による輸送障害が断続的に発生した。さらに下旬にも、北海道及び弘前地区で大雪による輸送障害が発生し、これらの影響で高速貨 172 本、専貨 22 本が運休した。また、新潟県中越地震の影響により、上越線では、引き続き一部単線運転を行なっていることもあって、月全体では、高速貨 242 本、専貨 112 本が運休した。

一方、荷動きについては、前月に続き弱含みの傾向が続いた他、前年は閏年であったこともあって、輸送量全体で前年比 93.8%となった。

コンテナ貨物では、自動車部品、他工業品及び化学薬品が前年を上回ったものの、政府米が大幅に減送となった農産品をはじめ、生野菜青果物、積合せ貨物等が前年を下回り、コンテナ全体では前年比 93.1%となった。

車扱貨物では、中旬から冷え込みが強くなり灯油が増送となった石油等が前年を上回ったものの、セメント、紙・パルプ等が前年を下回り、車扱全体では前年比 94.6%となった。

2. 輸送実績

(単位 :千トン、%)

種別	月計		前年比	年度累計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,661	1,784	93.1%	19,901	19,893	100.0%
車扱	1,465	1,549	94.6%	13,512	14,293	94.5%
計	3,126	3,334	93.8%	33,414	34,186	97.7%

3. 品目別輸送実績表

(単位 :千トン、%)

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品	80	150	-70	53.3%
	生野菜青果物	75	88	-13	85.2%
	化学工業品	162	177	-15	91.5%
	化学薬品	136	135	1	100.7%
	食料工業品	235	250	-15	94.0%
	紙パルプ等	271	276	-5	98.2%
	他工業品	120	116	4	103.4%
	積合せ貨物等	181	189	-8	95.8%
	自動車部品	46	39	7	117.9%
	エコ関連物資	40	41	-1	97.6%
	その他	315	324	-9	97.2%
	コンテナ計	1,661	1,784	-123	93.1%
車扱	石油	1,009	969	40	104.1%
	セメント	95	186	-90	51.3%
	石灰石	53	58	-5	91.3%
	車両	160	158	2	101.4%
	紙・パルプ	33	50	-17	66.4%
	化学工業品	47	60	-13	78.7%
	その他	68	69	-1	98.3%
車扱計	1,465	1,549	-84	94.6%	
合計	3,126	3,334	-208	93.8%	

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)